

## 神を探し求める

主よ 私はあなたが必要です。あなたなしには 私の心はひからびてしまいます。  
あなたのまぎれもない現存を 祈りの中で感じ、あなたとお会いしたいのです。  
あなたの前に、沈黙のうちにたたずむこの時に  
あなたを見つけたいのです  
あなたがお創りになられた自然に命を与えられたあなたを見出すことを望んでいます。  
丘から透き通った遠い地平線に  
落ち葉を守る 奥深い森林の中で  
あなたのすべての住まいの隠れた鼓動の中で  
あなたのおそばにいたいのです  
あなたの秘跡のなかで、あなたの赦しの出会いの中で、あなたのみことばを聞くことにお  
いて、あなたの徹底的な献身の神秘において、あなたと出会いたいのです  
あなたを私の心の中で感じたいのです  
私はすべての人の顔の中に あなたと出会いたいのです  
私の兄弟たちと生きる中で  
貧しいひとの必要性や 私の友の愛の中に  
こどもの微笑や群衆の騒音の中で  
私はあなたにお会いしたい。私の貧しさの中で、あなたが与えてくださった力のなかで、  
私の内に流れている望みと感情の中であなたとお会いしたいのです。  
私の仕事、私のやすみの中で、そして、いつか、私の命が弱り、あなたとの出会いのドア  
に近づいた時、顔と顔を合わせてあなたに出会えることでしょう

あなたに 感謝

## 第五章 精霊とともにある福音宣教者

### I 宣教を新たに推進するための動機

#### わたしたちを救うイエスの愛との人格的な出会い

264 福音宣教の第一の動機、それは、わたしたちが受けているイエスからの愛であり、イエスをますます愛するようにとわたしたちを促す、救いの体験です。しかし、愛する人について語ることに、その人を他人に紹介することに、その人を知ってもらうことにも必要性を感じない愛とは、一体何なのでしょう。もし、イエスを伝えたいという強い思いを抱いていないなら、イエスに向かって、再びあなたに引き寄せてくださいと、もっと祈る必要があります。わたしたちは、日々切に願わなければなりません。冷え切った心を開いてくださるよう、熱意に乏しくうわべだけの生活を送るわたしたちを目覚めさせてくださるよう、イエスの恵みを切に願わなければなりません。イエスの前で心を開き、イエスから見つめられるがままになれば、ナタナエルがイエスに会って「わたしは、あなたが……いちじくの木の下にいるの見た」（ヨハネ1・48）といわれた日に知った、あの愛のまなざしを認められるようになります。十字架の前にいること、聖体の前にひざまづくこと、ひたすらイエスのまなざしのみ受けていること、それは何と甘美なことでしょう。イエスが私たちの実存に再び触れてくださり、ご自分の新たないのちの交わりへと駆り立ててくださるままになること、それは何とすばらしいことでしょう。それによって何が起るのか、それは「わたしたちが見、また聞いたことを、あなたがたにも伝える」

（一ヨハネ1・3）ということです。

福音を伝えようという決断にとって最高の動機づけは、愛をもって福音を観想すること、その内容をじっくり考えて心で読むことによって得られます。そのようにして福音と向き合うならば、その美しさに驚かされ、そのつど新たに魅了されます。ですから、観想的な精神を取り戻すことが急務です。この精神は、人をより人間らしくし、新たな生へと導くよいものがわたしたちに託されていることを、日々再発見させてくれます。それを人へと手渡すこと、それに勝る行いはありません。

使徒的勧告

福音の喜び

教皇フランシスコ